

問1 伊藤博文らが作成に関わった大日本帝国憲法において、天皇の権限はどのように規定されていましたか。当時の憲法の条文の内容を踏まえて、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 鹿児島公立入試 類似）

1. 天皇は「国の象徴」であり、国政に関する権能を持たず、内閣の助言と承認を必要とするとされた
2. 天皇は国の統治権をすべてあわせ持つ存在（総攬者）であり、陸海軍を直接指揮する権限を持つとされた
3. 天皇は外交に関する権限のみを持ち、法律の制定や予算の決定はすべて帝国議会の同意が必須とされた
4. 天皇は国民から選出される代表者によってその地位を保證され、主権は国民にあることが明記された

問2 19世紀後半の欧米列強は、自国の資本主義が発展したことに伴い、アジアやアフリカへ積極的に進出し、支配領域を拡大しました。このような、強力な軍勢力を背景に他国を支配し、植民地を広げようとする動きや考え方を何といいますか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 帝国主義
2. 重商主義
3. 独占資本主義
4. ブロック経済

問3 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容が報じられると、日本では「日比谷焼打ち事件」などの激しい抗議活動が起こりました。日清戦争の際には2億両（テール）の賠償金を得ていた一方で、日露戦争では賠償金が全く得られなかったことが国民の強い反発を招きましたが、当時の国民がこれほどまでに憤慨した背景として最も適切な説明はどれですか。（2026年 秋田公立入試 類似）

1. 戦費を賄うために増税が繰り返され、一戸当たりの税負担額が戦前と比べて急増しており、国民の生活が極めて苦しかったから。
2. 条約によって、日本が長年求めていた韓国（大韓帝国）における指導権がロシアによって完全に否定される内容だったから。
3. 下関条約で獲得した遼東半島を、ロシア・ドイツ・フランスの干渉によって返還させられた直後の出来事だったから。
4. ロシア国内で革命運動が激化したことで、日本がより有利な条件を引き出す前に政府が独断で交渉を打ち切ったから。

問4 1889年に公布された大日本帝国憲法において、天皇の立法権を助ける機関として設置された帝国議会の仕組みについて述べたものとして、正しい記述はどれですか。（2024年 岡山公立入試 類似）

1. 国民が選挙で選んだ議員によって組織される衆議院と、皇族や華族などの非公選議員からなる貴族院の二院制であった。
2. 国民の代表によって組織される衆議院のみの一院制であり、すべての国民に選挙権が与えられている。
3. 現在の国会と同様に、直接選挙によって選出された議員のみで構成される衆議院と参議院の二院制であった。
4. 天皇の諮問機関である枢密院が、衆議院の上位組織として議決のすべてを決定する仕組みであった。

問5 明治政府が、欧米諸国に対抗できる国力を養うために掲げた「富国強兵」という目標のもと、官営模範工場の設立や鉄道の整備などを通じて近代産業の育成を図った政策を何と呼ぶか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 殖産興業
2. 文明開化
3. 地租改正
4. 版籍奉還

問6 明治時代初期、政府の実権が一部の藩出身者によって独占されている状況を批判し、1874年に「民撰議院設立の建白書」を提出して自由民権運動の先駆けとなった政治家は誰ですか。（2019年 山口公立入試 類似）

1. 板垣退助
2. 大隈重信
3. 伊藤博文
4. 木戸孝允

問7 1890年に実施された第1回衆議院議員総選挙では、有権者が投票用紙に自らの氏名を記入する「記名投票」が採用されました。この制度が民主主義の観点から抱えていた課題として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 誰が誰に投票したかが外部から分かってしまうため、個人の投票の自由が保障される「秘密選挙」が確立されていなかった。
2. 自分の名前を漢字で書けない人が投票に参加できなくなるため、識字率の低さを利用して特定の政党を有利にしていた。
3. 投票用紙を他人に売買することが容易になり、地主や資本家が大量の票を買い占める「買収」が横行する原因となった。
4. 選挙人名簿に登録された本人であるかを確認する手間が省ける一方で、他人が本人になりすまして投票する不正を防げなかった。

問8 1895年に結ばれた日清戦争の講和条約である下関条約において、一度は日本への割譲が決定したものの、その直後にロシア・ドイツ・フランスによる強い要求を受け、清に返還することになった地域はどこですか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 遼東半島
2. 台湾
3. 澎湖諸島
4. 千島列島

問9 1885年に内閣制度が創設された際、初代内閣総理大臣に就任した伊藤博文とともに、初代外務大臣として不平等条約の改正交渉に臨み、欧化政策を推進した人物は誰ですか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 井上馨
2. 陸奥宗光
3. 小村寿太郎
4. 板垣退助

答え合わせ・解説

問1	答え 2 天皇は国の統治権をすべてあわせ持つ存在（総攬者）であり、陸海軍を直接指揮する権限を持つとされた	大日本帝国憲法では、天皇主権の原則がとられていました。天皇は国の統治権を総覧（一手に掌握）し、議会の関与を受けずに陸海軍を直接指揮できる「統帥権」を持つなど、極めて強い権限が与えられていたのが特徴です。
問2	答え 1 帝国主義	19世紀後半、産業革命を経て経済力をつけた欧米列強は、工業製品を売るための市場や、製造に必要な原料の供給地である資源を求めて、海外進出を加速させました。この動きを帝国主義と呼び、アジアやアフリカの多くの地域が列強の植民地となりました。
問3	答え 1 戦費を賄うために増税が繰り返され、一戸当たりの税負担額が戦前と比べて急増しており、国民の生活が極めて苦しかったから。	日清戦争時には多額の賠償金が得られたのに対し、日露戦争では賠償金が「なし」という結果に終わりました。当時の統計によると、1894年から1906年にかけて一戸当たりの税負担額は急増しており、国民は重い税金に耐えながら戦争を支えていました。生活が困窮する中で金銭的な補償が得られなかったことが、国民の不満を爆発させる決定的な要因となりました。
問4	答え 1 国民が選挙で選んだ議員によって組織される衆議院と、皇族や華族などの非公選議員からなる貴族院の二院制であった。	大日本帝国憲法下の帝国議会は、衆議院と貴族院の二つの議院から構成される二院制をとっていました。衆議院は、一定の直接国税を納めた男子による選挙で選ばれた議員によって組織されました。一方、貴族院は皇族や華族、勅任された議員などによって構成されており、民意を反映する衆議院を抑制する役割も期待されていました。
問5	答え 1 殖産興業	明治政府は、日本を近代的な中央集権国家にするため、軍事力の強化（強兵）と経済の発展（富国）を不可欠と考えた。そのために、政府が主導して西洋の技術を導入し、国内の産業を育てる一連の政策が「殖産興業」である。この政策により、官営模範工場の建設や通信・交通網の整備が進められた。
問6	答え 1 板垣退助	征韓論をめぐる対立（明治六年の政変）で政府を去った板垣退助は、後藤象二郎らとともに、国民が選んだ議員による議会の開設を求める建白書を提出しました。これが、言論によって政府を批判する自由民権運動の始まりとなりました。
問7	答え 1 誰が誰に投票したかが外部から分かってしまうため、個人の投票の自由が保障される「秘密選挙」が確立されていなかった。	明治時代初期の選挙では、投票用紙に自分の氏名を書く「記名投票」が義務付けられていました。これにより、立会人や周囲の人間に誰に投票したかを知られる可能性があり、現代の選挙の基本原則である「秘密選挙」が守られていませんでした。当時はこの仕組みを利用した政府や有力者による干渉も問題となりました。
問8	答え 1 遼東半島	下関条約によって日本は遼東半島、台湾、澎湖諸島を領有することになりました。しかし、東アジアへの進出を狙っていたロシアがドイツ・フランスを誘って日本に圧力をかけた「三国干渉」により、日本は遼東半島の領有を断念し、清に返還しました。
問9	答え 1 井上馨	伊藤博文が初代内閣総理大臣を務めた第一次伊藤内閣において、外務大臣に就任したのが井上馨です。井上は条約改正を有利に進めるため、鹿鳴館を建設して外国使節を接待するなど、日本の近代化をアピールする欧化政策を強行しましたが、改正には至りませんでした。